

2017年度 第2四半期 決算説明会資料

2017年11月13日

OKK株式会社

【免責事項】

本資料に含まれている計画や見直しには、主要市場における製品の需給動向、競合状況、経済情勢その他に不透明な面があり、実際と異なる可能性があることをご承知おき願います。

目次

I. 会社概要

- 1 経営理念と経営ビジョン P 1
- 2 会社概要 P 2 ~ P 3
- 3 Neo Challenge <中長期経営計画>
の進捗 P 4

II. 決算の概要

- 1 決算の概要 P 5
- 2 売上高・営業利益率の推移 P 6
- 3 営業利益 増減要因 P 7
- 4 売上高(地域割合) P 8
- 5 受注高(地域割合) P 9
- 6 受注高の推移 P 10
- 7 貸借対照表 P 11
- 8 キャッシュ・フロー P 12
- 9 業績予想 P 13

- 10 2017年度第2四半期のトピックス P 14
 - ・ EM02017へ出展 P 15
 - ・ ソフトスケールCubeの開発 P 16

➤ 経営理念

① 顧客第一

顧客の信頼と期待に応える品質とサービスを提供する。

② 社会的責任

地球環境と人類社会の調和と発展に貢献する。

③ 価値の提供

技術を革新し新しい価値を創造する。

➤ 経営ビジョン

次の100年に向けて、盤石な企業基盤を構築するとともに、安心と信頼に満ち、活気にあふれる企業を目指す。

I-2. 会社概要

| | |
|-------|--|
| 社名 | OKK株式会社 |
| 創立 | 大正4年（1915年）10月 |
| 資本金 | 6,283百万円 |
| 従業員数 | 757名（連結）、477名（単独） |
| 本社所在地 | 兵庫県伊丹市北伊丹八丁目10番地1 |
| 上場 | 東証1部 |
| 事業内容 | 下記製品の製造および販売 工作機械：マシニングセンタ、NCフライス盤 汎用フライス盤、専用工作機械 水道メーター：各種水道メーター 上下水道計装システム 水道料金システム |

（2017年度第2四半期末時）

I-2. 会社概要(国内・海外ネットワーク)



OKK Europe GmbH



OKK USA CORPORATION



国内11拠点+2グループ

I-3. Neo Challenge <中長期経営計画> の進捗



【計画期間】 2016年度～2025年度(10年間)

【テーマ】 **Innovation for next 100**

【方針】

| 計画期間 | 方針 |
|------------------------------|--------------------|
| ファーストステージ (2016年度～2018年度) | 事業基盤の更なる強化と新事業への挑戦 |
| セカンドステージ (2019年度～2022年度) | 事業拡大への準備と実行 |
| ファイナルステージ (2023年度～2025年度) | 事業拡大し、盤石な企業基盤を構築 |

| 【各ステージの 到達目標値】 | 2017年度 第2四半期 実績値 | ファーストステージ (2016年度～2018年度) | セカンドステージ (2019年度～2022年度) | ファイナルステージ (2023年度～2025年度) |
|----------------------|------------------------|------------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| 売上高 | 12,038 | 30,000 | 40,000 | 50,000 |
| 営業利益 | 123 | 2,400 | 3,600 | 5,000 |
| 営業利益率 | 1.0% | 8% | 9% | 10% |
| 経常利益 | 138 | 2,250 | 3,400 | 4,820 |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 44 | 1,570 | 2,275 | 3,220 |
| 株主資本合計 | 10,665 | 12,700 | 15,600 | 20,000 |
| ROE(自己資本利益率) | 0.4% | 6.5% | 8.1% | 10.0% |
| 配当性向 | - | 20%以上 | 25%以上 | 30%以上 |

※但し、各ステージの目標値に到達した時点で、次のステージに移行するものとします。

(単位: 百万円)

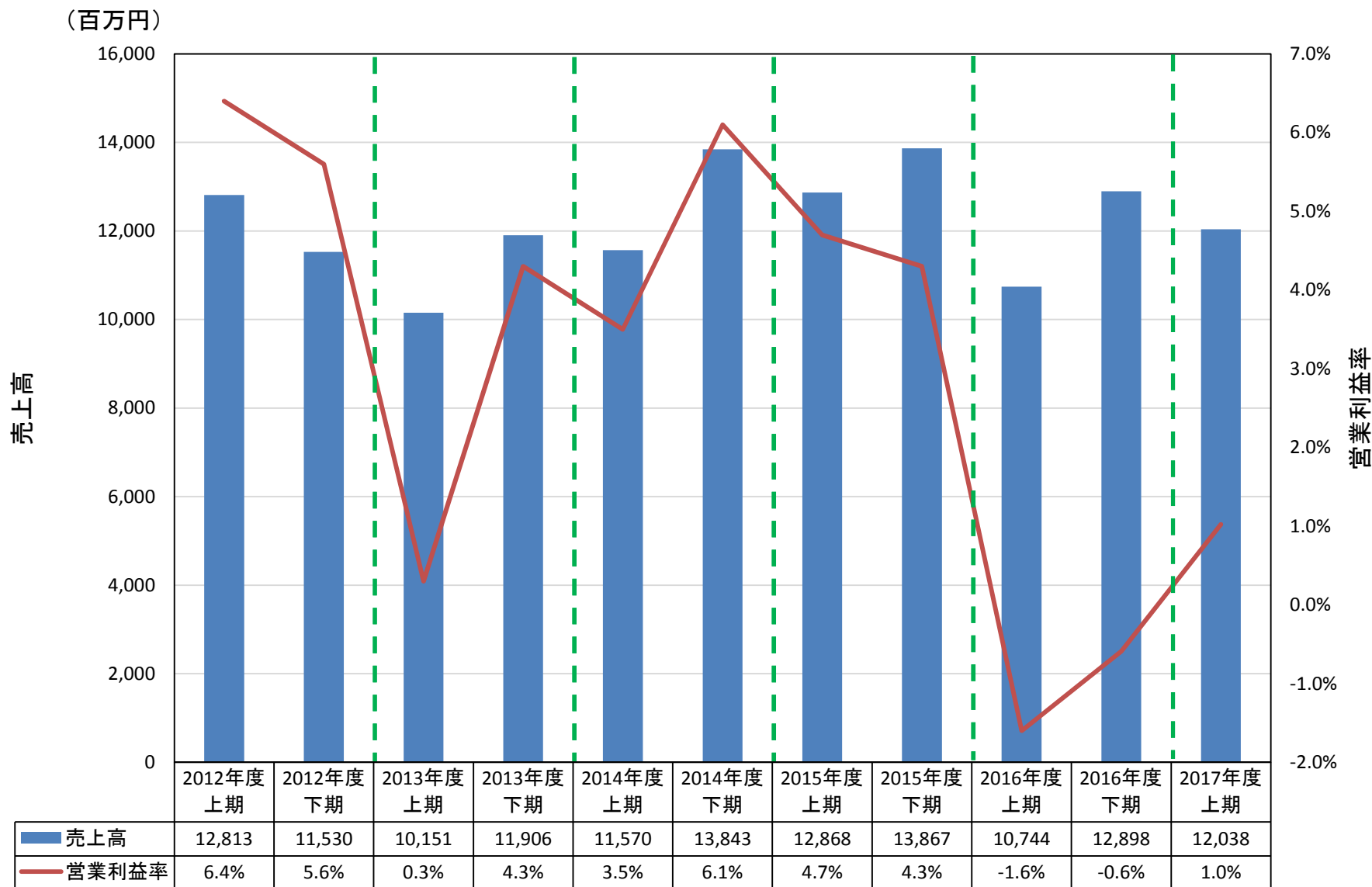
Ⅱ-1. 決算の概要

| | 2016年度 第2四半期(実績) | | 2017年度 第2四半期(実績) | | | |
|----------------------|---------------------|-----------|---------------------|-----------|---------------|-----------|
| | (百万円) | 売上高 比率 | (百万円) | 売上高 比率 | 前年度比 (百万円) | 前年度 比率 |
| 売上高 | 10,744 | | 12,038 | | 1,293 | 12.0% |
| 営業利益 | -175 | -1.6% | 123 | 1.0% | 298 | 黒字化 |
| (為替差損益) | -409 | - | 66 | - | 475 | - |
| 経常利益 | -616 | -5.7% | 138 | 1.1% | 754 | 黒字化 |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | -589 | -5.5% | 44 | 0.4% | 634 | 黒字化 |

| | | |
|-------|------------------|---|
| 為替レート | 2016年度 第2四半期 実績 | ドル=105.30円 ユーロ=117.33円 ※ドルは期中平均レート、ユーロは期中平均実績レート |
| | 2017年度 第2四半期 実績 | ドル=111.04円 ユーロ=126.58円 ※ドルは期中平均レート、ユーロは期中平均実績レート |
| | (参考)2017年度 想定レート | ドル=110円 ユーロ=120円 |

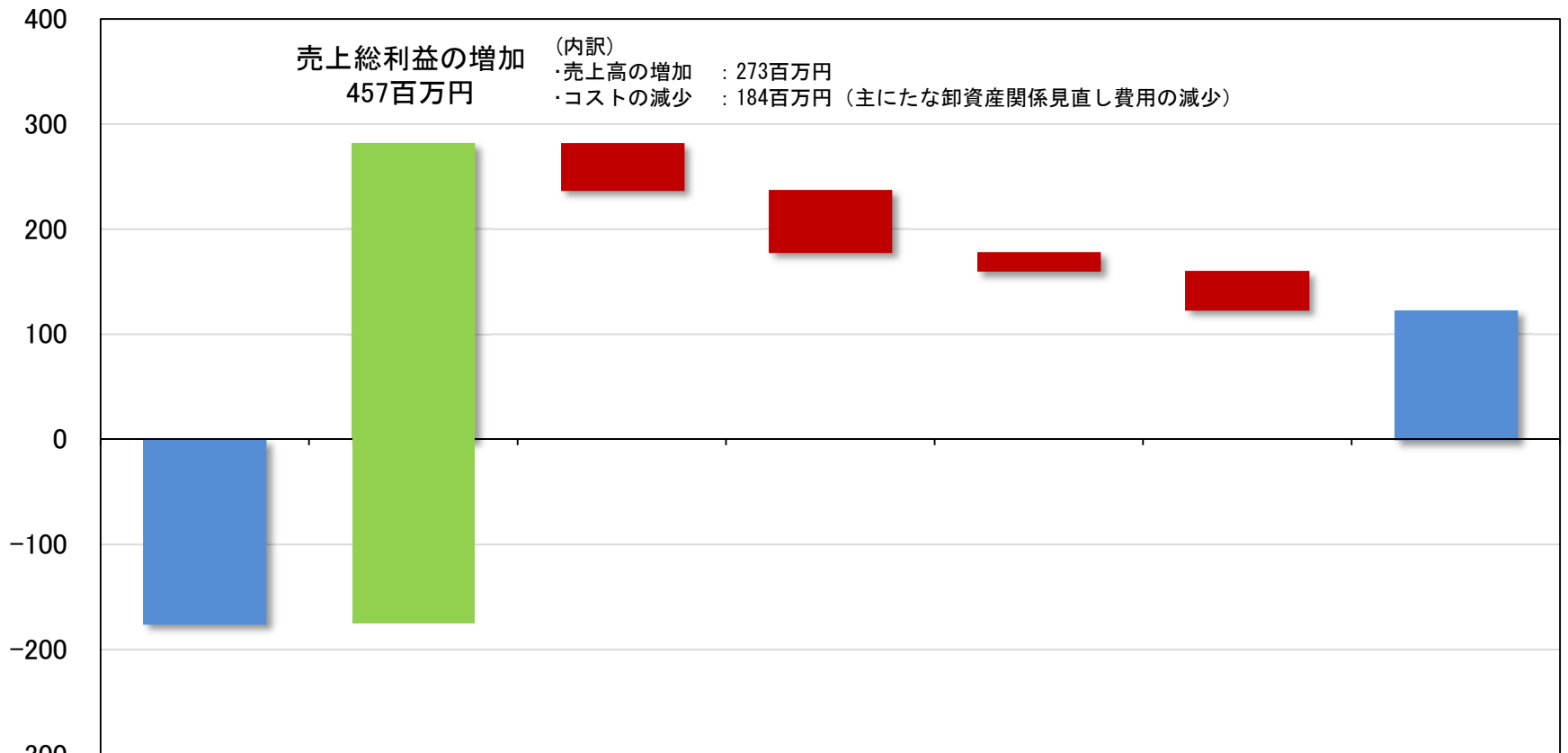
※為替レートは前月末と当月末で毎月洗い替えを実施しています。

Ⅱ-2. 売上高・営業利益率の推移



Ⅱ-3. 営業利益 増減要因

(百万円)



2016年度上期
営業損失
175百万円

人件費
▲45百万円

荷造運送費
▲59百万円

減価償却費
▲18百万円

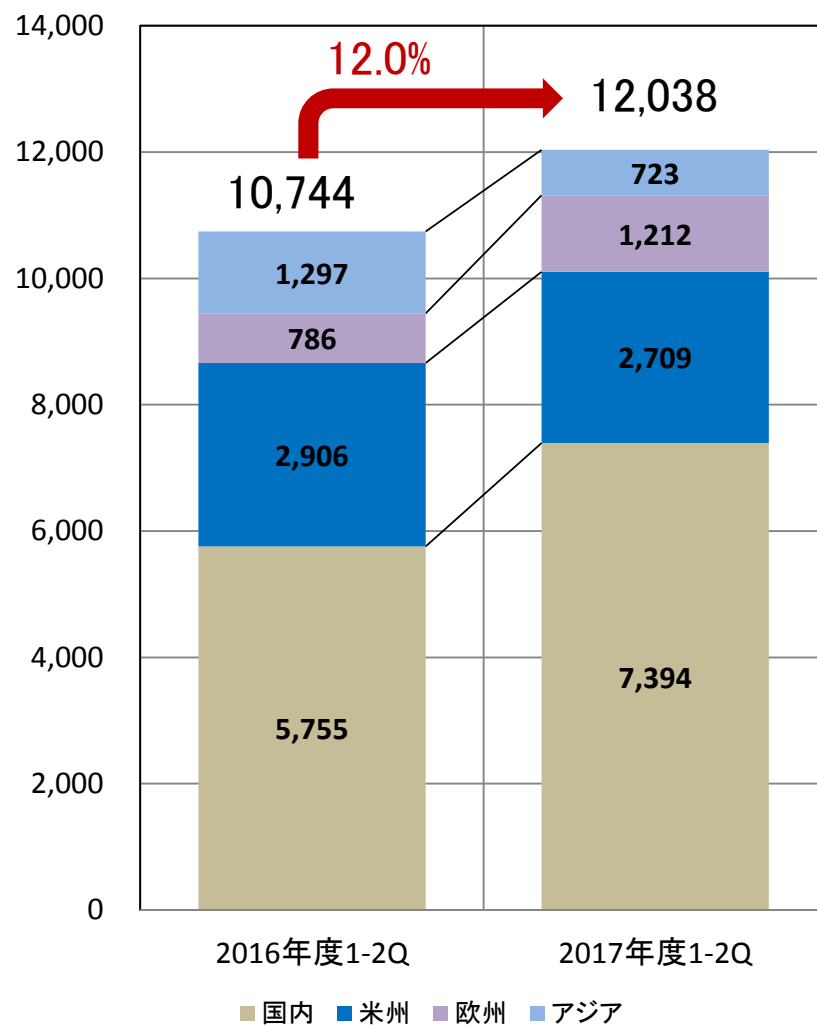
その他
▲37百万円

2017年度上期
営業利益
123百万円

(内訳)
 ・給与 : ▲34百万円
 ・賞与 : ▲10百万円
 ・退職給付費用 :
 5百万円
 ・その他 : ▲6百万円

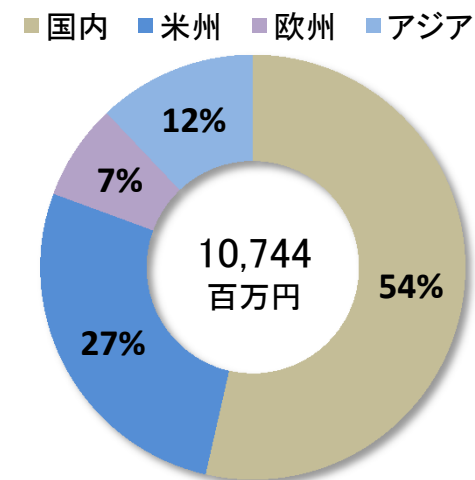
Ⅱ-4. 売上高(地域割合)

(百万円) 【売上高】

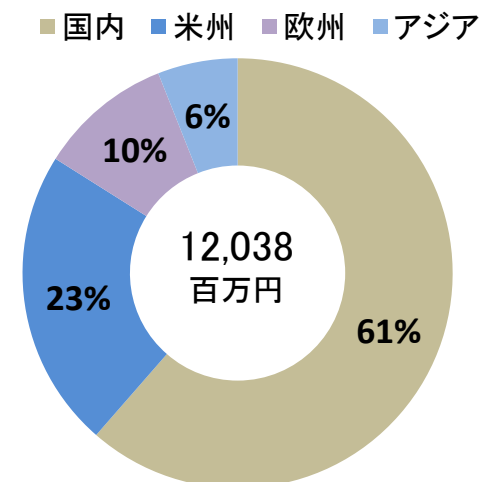


【地域割合】

2016年度1-2Q



2017年度1-2Q

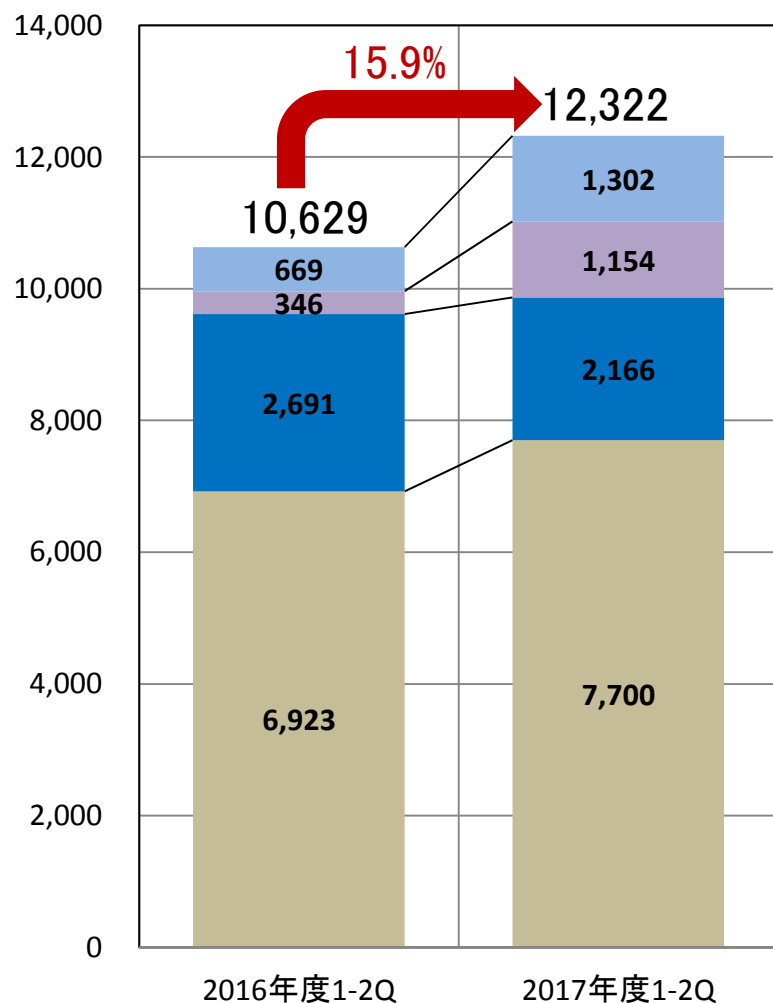


Ⅱ-5. 受注高(地域割合) ※工作機械のみの受注高

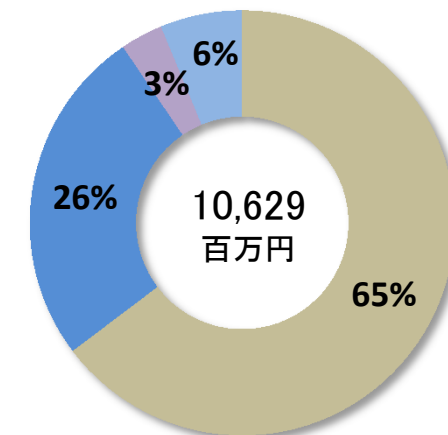
(百万円)

【受注高】 ※その期の受注獲得額

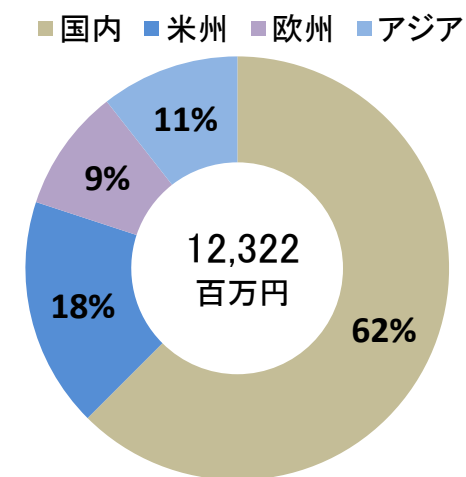
【地域割合】



2016年度1-2Q
■ 国内 ■ 米州 ■ 欧州 ■ アジア



2017年度1-2Q



受注・売上について

- ・国内は前年同期より受注・売上とも増加
- ・米州は当社が得意とする建機・自動車関連が伸び悩んだが、建機関連は回復傾向
- ・欧州は自動車・航空機市場において順調
- ・アジアにおける中国市場は回復傾向となりました。

■ 国内 ■ 米州 ■ 欧州 ■ アジア

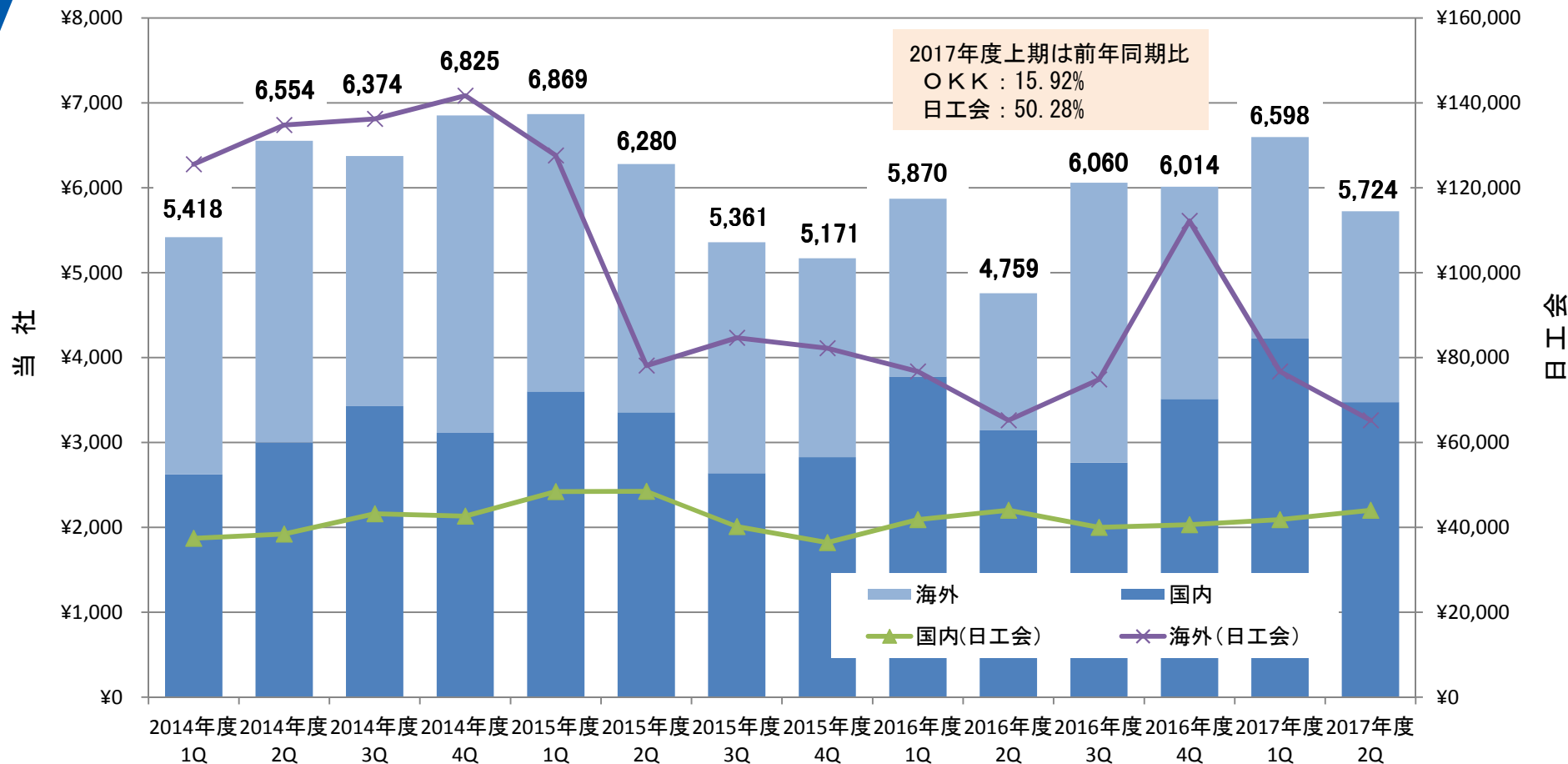
Ⅱ-6. 受注高の推移 ※工作機械のみの受注高



(百万円)

日工会は、立横マシニングセンタ、フライス盤の受注金額を集計(日工会統計資料より)

(百万円)

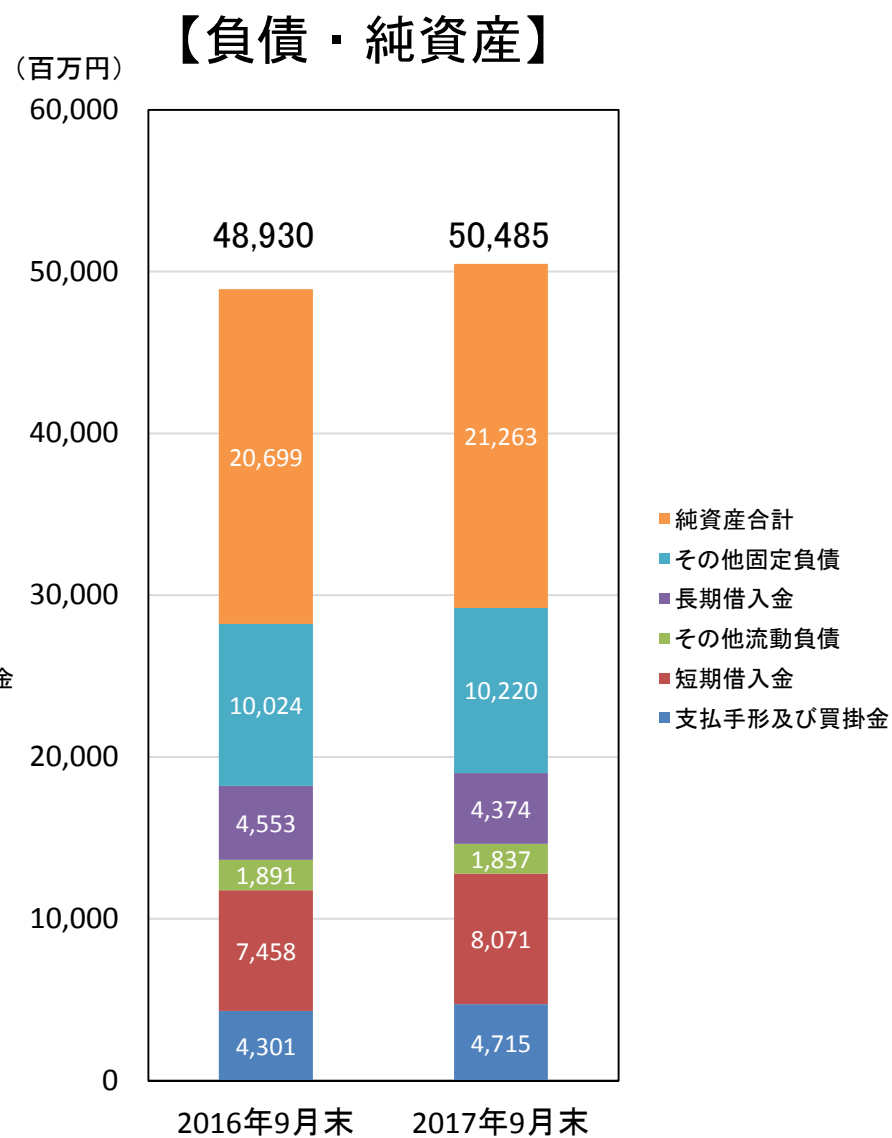
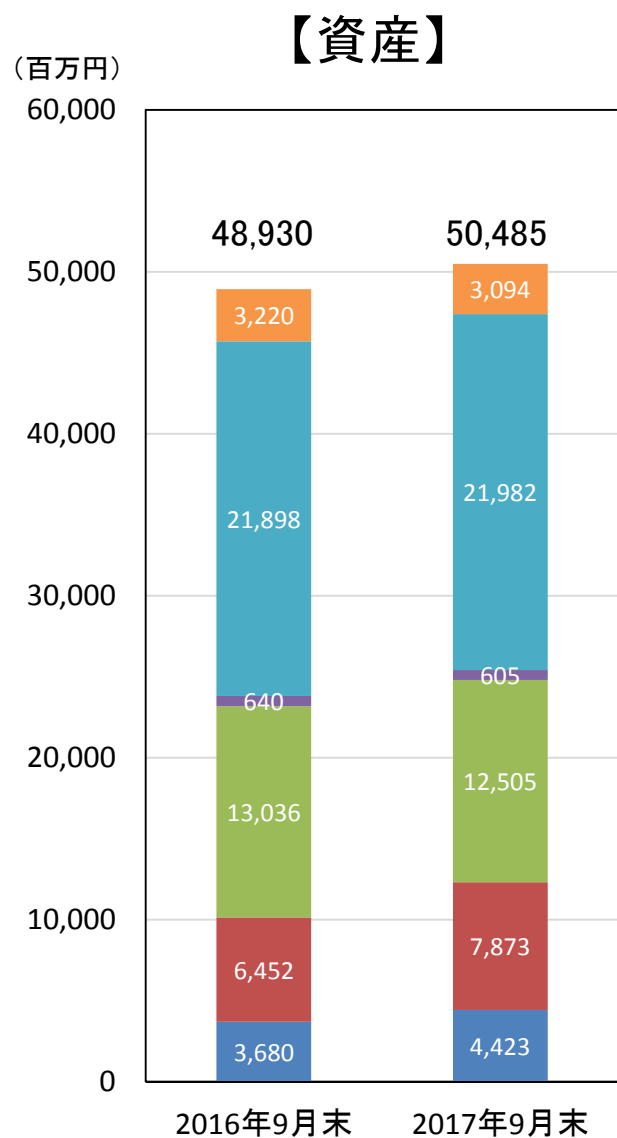


【参照為替レート】※ドルは期中平均レート、ユーロは想定レート。

| | 2014年度 | 2014年度 | 2014年度 | 2014年度 | 2015年度 | 2015年度 | 2015年度 | 2015年度 | 2016年度 | 2016年度 | 2016年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2017年度 |
|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q |
| ドル | 102.17円 | 103.84円 | 114.35円 | 119.16円 | 121.43円 | 122.30円 | 121.47円 | 115.35円 | 108.06円 | 102.45円 | 109.42円 | 113.6円 | 111.09 | 111.03 |
| ユーロ | 140.00円 | 140.00円 | 140.00円 | 140.00円 | 130.00円 | 130.00円 | 130.00円 | 130.00円 | 120.00円 | 120.00円 | 120.00円 | 120.00円 | 120.00円 | 120.00円 |

※受注は想定レートと実績レートを組合せて算出。

Ⅱ-7. 貸借対照表



Ⅱ-8. キャッシュ・フロー

| | 2016年度 上期 | 2016年度 通期 | 2017年度 上期 | 2017年度上期の主な内訳 (百万円) |
|-----------------------------------|--------------|--------------|--------------|--|
| ① 営業活動による キャッシュ・フロー | -1,371 | -1,608 | 1,314 | ・税金等調整前四半期純利益：114 ・減価償却費：446 ・たな卸資産の減少：208 ・仕入債務の増加：396 |
| ② 投資活動による キャッシュ・フロー | -230 | -1,064 | -211 | ・有形固定資産の取得による支出：-193 |
| ③ 財務活動による キャッシュ・フロー | 1,281 | 2,604 | -1,402 | ・リース債務の返済：112 ・配当金の支払：157 ・短期借入金の減少：290 ・長期借入金の減少：941 |
| ④ 現金及び現金同等物に係る 換算差額 | -21 | 0 | 5 | |
| ⑤ 現金及び現金同等物の増減額 ⑤=①+②+③+④ | -343 | -68 | -294 | |
| ⑥ フリーキャッシュ・フロー ⑥=①+② | -1,601 | -2,672 | 1,102 | |
| ⑦ 現金及び現金同等物の 期首残高 | 3,933 | 3,933 | 3,865 | |
| ⑧ 新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額 | - | - | 781 | ・4月1日付でタイの子会社と新規連結し、 期首でのタイの子会社の現預金を記載 |
| ⑨ 現金及び現金同等物の 四半期末残高 ⑨=⑤+⑦+⑧ | 3,590 | - | 4,353 | ・3ヶ月を超える短期預金70百万円をキャッシュ・ フロー計算上除外 |
| ⑩ 現金及び現金同等物の 期末残高 ⑩=⑤+⑦+⑧ | - | 3,865 | - | |

Ⅱ-9. 業績予想

- ・2017年11月2日に公表した業績予想を記載しております。
- ・業績予想を踏まえ、年間配当は20円を予定しております。

5月19日公表値 11月2日公表値

| | 2016年度(実績) | | 2017年度(予想) | 2017年度(予想) | | | |
|-----------------|------------|-------|------------|------------|-------|----------|-------|
| | (百万円) | 売上高比率 | (百万円) | (百万円) | 売上高比率 | 前期比(百万円) | 前年度比率 |
| 売上高 | 23,642 | | 26,400 | 26,000 | | 2,358 | 10.0% |
| 営業利益 | -251 | -1.1% | 1,200 | 1,000 | 3.8% | 1,251 | 黒字化 |
| 経常利益 | -443 | -1.9% | 1,000 | 900 | 3.5% | 1,343 | 黒字化 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | -410 | -1.7% | 800 | 700 | 2.7% | 1,110 | 黒字化 |

| 為替レート | 2016年度 実績レート | ドル=108.49円 ユーロ=117.88円 <small>※ドルは期中平均レート、ユーロは期中平均実績レート</small> | |
|-------|--------------|--|----------|
| | 2017年度 想定レート | ドル=110円 | ユーロ=120円 |

注1) 為替レートは前月末と当月末で毎月洗い替えを実施しています。

注2) 当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株を1株の割合で株式併合を実施しましたので、平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載しております。

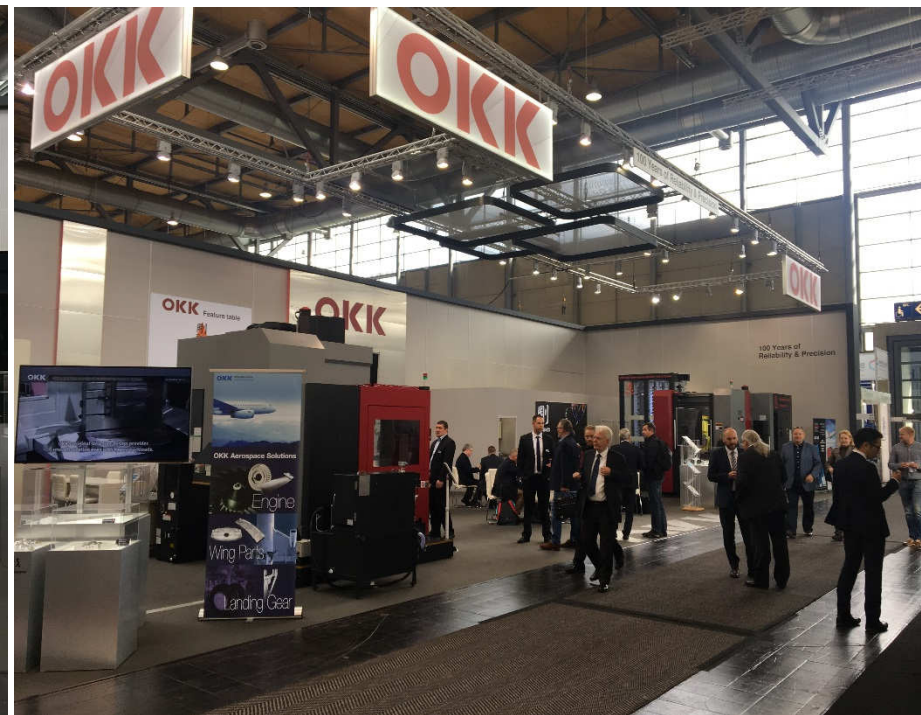
Ⅱ-10. 2017年度第2四半期のトピックス

| | | トピックス |
|-------|----|--|
| 2017年 | 4月 | <ul style="list-style-type: none">・ 生産推進プロジェクトの開始・ タイのグループ会社3社を統合 |
| | 5月 | |
| | 6月 | <ul style="list-style-type: none">・ 第159回定時株主総会開催・ 株主向け会社説明会開催 |
| | 7月 | <ul style="list-style-type: none">・ 東日本プライベートショー開催・ 中部・西日本プライベートショー開催・ 環境熱変位補正機能 ソフトスケールCube を開発 |
| | 8月 | |
| | 9月 | <ul style="list-style-type: none">・ EMO2017へ出展 |

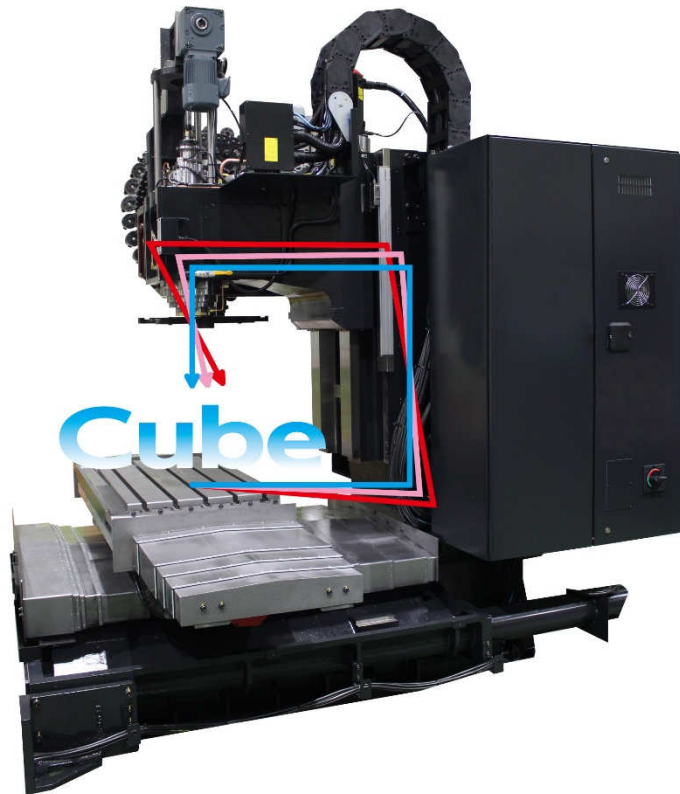
Ⅱ-10. 2017年度第2四半期のトピックス(EMO2017へ出展) **OKK**

世界三大”工作機械およびその関連機器等の展示会”の1つである**EMO**に今回も出展しました。期間中、当社のブースにも多くのお客様がご来場され、大口の受注ができました。

- ・ 開催場所： **ドイツ・ハノーバー**
- ・ 開催期間： **2017年9月18日～9月23日**
- ・ 来場者数： **200名**
- ・ 出展内容： **HMC500+MAM製マトリクスマガジン、 VC-X500 実加工デモ**



Ⅱ-10. 2017年度第2四半期のトピックス (ソフトスケール Cubeの開発) **OKK**



機体に設置した温度センサで **Cube (立法体)** の変形を推定して加工点の熱変位を補正します。

マシニングセンタは、設置環境及び、機械の稼動により、発熱すると構造部が膨張し変形します。構造部が変形することにより、加工時に誤差が生じます。

そのような問題を解決し、さらなる加工精度の安定化を目指して、環境熱変位補正機能である**ソフトスケールCube**を開発しました。

ソフトスケールCubeで補正を行った場合、**誤差は約1／3に低減可能**となりました。

VM53Rに標準採用し、今後は、他機種にも展開を予定しています。

メ モ

OKK



重切削、高剛性の百年品質

OKK株式会社

〒664-0831

兵庫県伊丹市北伊丹8-10

TEL. 072 (782) 5121 FAX. 072 (772) 5156